

M7講演会「私にとって「働く」ということ」振り返り

M7イノベーションタイムでは、クエストエデュケーションプログラムにそって授業を進めています。現在6企業に分かれ新人研修を終え、「初仕事」に挑戦しているところです。今回、6企業の中から、大和ハウス工業 人財・組織開発部 共育・共創グループ 主任 小山内 翔太氏に來校いただき、デジタルでの対応ではない企業人の生の声を聴かせていただく機会を得ることができました。「働く」とはどういうことなのか。中学生にとって少し遠くに感じていたことが、この講演を聴くことで自分事として感じ取り、これからの取組に生かしていってほしいと思います。

《感想》

- ◇ 人の人生にかかわっていく、働くことは目的ではなく、かかわる人を幸せにできる手段だと分かった。これから自分のやりたい職について考えるときに今日の講演も参考にしたい
- ◇ 働くところへの価値観はそれぞれ違っているが、どこかで誰かの役に立っているということには変わらないと知りました
- ◇ 今まで、「仕事生きがいになればいいな」とざっくり思っていたし、それは今も変わらずに思うが、ただ仕事を楽しむのではなくて、何か自分の目標のために仕事を頑張れるとよりいいなと感じた
- ◇ 「仕事や職業は目標を達成する手段の一つ」という言葉が印象に残っています。私も将来、自分にあった仕事で人を支えられたらいいなと思いました。講演ありがとうございました
- ◇ 働くというと帰ってきてからの疲れた親の顔が浮かんできて、あまりポジティブなイメージがなかったけれど、自分の親も仕事をしているときはお客さんのためになるんだ!!!!と思ってキラキラした顔で仕事をしているんじゃないかなと思いました
- ◇ 働くという字は、人が動くではなくて、”人のために動く”という風に、少し視点を変えてとらえられていて納得しました。将来は、思い描いたとおりに行くものじゃないので、そこでやりがいを見つけて価値を見い出せるようにしたいです
- ◇ 大学の選び方もそうだけど、手段と目的をはき違えないようにしたいです。また、自分の将来の目的を考えさせられました

- ◇ 「働く」ことは「自分、他者、社会に価値をもたらすもの」という話はとても共感できた。それぞれが価値を与え合って社会はまわっているというのは、身の回りの生活でも当てはまると思う。私たちはまだ価値を貰っただけなので、働いてその分の価値を少しでも与えることができるようにしたいと思った
- ◇ 将来の夢は何ですか？と聞かれたとき、具体的な職業の名前を求められることが多いですが、幸せを作りたいというような抽象的なことでもいいんだと分かりました。一つの職種にこだわらなくても、やりたいことを自分で気づいていれば、やりがいのある職種に就けるのではないかなと感じました。進路の話ときにも一つの職種にこだわるのではなくて、色んな人生のプラン、選択肢を持った方がいいよ、というふうによく言われて難しく感じていましたが、小山内さんの話を聞いてその意味がよく分かりました。自分のことを見つめ直してよく考えたいと思います
- ◇ 正直就職って聞くと、堅苦しくてブラック(?)なイメージがあったけどそれが覆された。小山内さんは小山内さんの性格に合ったいい企業に出会えて、その中で幸せを見つけているのだと思って、自分も将来そんな風を楽しんで働けたらいいなと思った。そのために自分の性格とかと向き合って私自身が生きやすい生き方を見つけないといけない
- ◇ これまでは、仕事とは大変なことばかりだと思い続けていた。しかし、今回の講義から、「仕事」は大変なことよりも、自分のしたいことができる嬉しさ・人の人生にかかわる・影響を与えられるという達成感や楽しさの方が大きいのだと気づいた



小山内様、本日はお忙しい中、ご講演いただきありがとうございました。